

風早北部
防犯情報

しょうなん

具体的行動に優る策なし

SHOW "No Action No-result"



マッチングアプリを利用した詐欺犯罪に警戒しましょう 大学生など若い成人の方も狙われています

オンライン上で出会いを求める需要が増加し、いわゆる人どおしのマッチングを可能とするアプリの利用者も年々増加しています。これに目をつけた犯罪集団が、同アプリを詐欺のツールとして利用し、その被害は最近顕著に増加しています。

通称「恋愛系詐欺」と称する本手口は、マルチ商法とも関連し、デジタル化社会の中で益々巧妙化しています。本号では最近の手口概要と詐欺にかからないための主な対策を紹介します。

緊密になった際の同情心を利用してきます

アプリで関係が緊密になった頃合をみて、親が病気になった、借金の取り立てに困っているなどと同情をあおり、お金を騙し取る手法です。

投資を迫ってきます

一定の信頼を得た頃合をみて、儲(もう)け話を切り出し、お金の支払いを迫ってくる手法です。7月上旬に摘発されたマルチ商法で逮捕された男性詐欺グループは全国で約2千人の若者から総額 8.5 億円を不当に集金していました。

高額な料金支払いを迫ってきます

知り合った相手を高級な◎◎店に誘い、高額な支払いを請求する手口です。

恋愛関係になり個人情報を盗み取ります

結婚する意図もない中、結婚話をちらつかせて、相手の資産を奪い取る手口です。

端末がウイルスに感染・個人情報を盗み取られないよう対策をして欲しいと迫ります

出会い系サイトで知り合った相手のパソコン端末にアクセスして、ウイルス感染したと脅し、その後は実際のスパイウェア等のウイルスに感染させ個人情報(資産情報)を盗み取ったり、それを脅しに金銭を巧みに奪い取る手口です。

対策：本当はマッチングアプリを使わないのが最も安全ですが…それ以外では、

- アプリ自体の信頼性を事前に調べる(評価の悪いアプリは決して利用しない)
- 少しでも相手の様子に怪しい変化を感じたらアプリ管理者に通報する。
- 特に相手が金銭やそれに類する要求をしてきたら、不審に思いアプリ管理者に連絡する。
- 相手と会う際決して自宅住所は教えない、人の少ない場所は避け街中の商店街、公共施設など公共の場所や施設で会うように努める

添付の国民生活センター版注意喚起「ポチッとする前によくチェックダウン」「STOP 安易な契約」のチラシ2種類(2~4頁掲載)も参照ください。